

組NEWS合

Faculty and Staff Union of Kanazawa University

発行：金沢大学教職員組合執行委員会
住所：金沢市角間町 角間内線2105
直通電話(076)262-6009 (FAX同じ)
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ http://www.ku-union.org

2009年3月10日

通巻1101号

この号の内容

第二期中期目標・計画案が開示	1P
全大教 技術職員交流会	2P
スキーツアー感想	3P
他大学状況・活動日誌	4P

学長アクションプラン 第二期中期目標・計画案が開示される 組合の運動の成果！

2月13日の夕刻において、学長APのver 2（解説版）及び第二期中期目標・計画第二次素案が大学ホームページ（金沢大学→在学生/卒業生/教職員→大学紹介→大学事務局→評価室）において開示され、大学からの意見を求めることになりました。組合として「開示」を大きな目標として取り組んできましたので、今回の開示により次の局面になったと考えています。

この開示された内容について、各学域・学類や、様々の組織からの意見聴集に入っており、3月13日には第三次素案が示されると言われています。

人間社会学域においては各種基幹会議を行い、質問や要求事項について準備作業に入っております。理工学域においては開示資料を紹介し、各学類ごとの意見聴集が行われています。しかし、医薬保健学域は任期制と重要な関わりがあるにもかかわらず、今のところ対応がされている状態では無いようです。

「全学で任期制30%以上」の主要な担い手と期待されている部局の実態がこのままであれば、説明責任を果たさずに組織まるごと任期制に突入することになり、学域学類長などの責任が今後追及されることになるでしょう。この後、保健学科においては3月4日になって当局がようやく意見を3月13日までに専攻単位でまとめるように指示したと言うのが唯一の対応でした。

組合としてはこの間に意見をとりまとめる作業をして来ましたが、2月16日に北支部は櫻井理事との「懇話会」を要求しましたが、組合として1本化するよう求められ、2月18日に本会執行委員会として再度申し入れを行いました。

この申し入れに対する回答が2月24日にありました。その時に「自分が全て分かっているわけではない。案は現在も改訂作業がなされている途中である。そこで懇話会には応じられない。大学評価室へ文書にて組合の意見を出してくれば・・・」との現場の様子をそれとなく知らせ、正式の回答がありました。

この件に関してスケジュール等を考慮して、組合執行委員会や第2期中期目標・計画に関するWGにおいて組合意見書を作成し、3月4日に当局に渡しました。

ところで、3月5日段階において、組合員からの指摘により、調べたところ、なんと！大学ホームページに開示されていた学長APがいつのまにか消去されていることが判明しました。ゴジラは泣いています。私の大切な学長APはどこへ行ったのかと！

この件の分析は速報にて行います。

技術職員交流会に参加して

2月14日土曜日、東京で全大教技術職員交流会が開催され、34単組から55名の参加者があった。この会議は、技術職員活動を交流する目的で定期開催されています。今回は、42単組からの昇格実態アンケート結果（2008年技術職員昇格実態調査結果）のを基に法人化前と比べた結果の報告があった。

改善が進んだ単組が、悪くなったと判断した単組より若干多いと報告があった。判断の基準は「2003年度の文部科学省級別定数配分基準」であり、各大学で個々の技術職員の昇格年齢は完全に把握しきれていないとの発言

があった。法人化後も公務員時代の行政職（一）表を使用しているが、新給与表へ切り替え時における格差などの実態調査が必要と感じた。少なくとも2003年度の基準で格付けされているか、交渉で確認し技術職員の昇格改善を進めたい。

全学の技術部組織として進めた大学では、上位の級発令や、定年退職した後の新規採用者は全の技術部組織に配属される事例などの発言があった。久保

組合統一要求項目について当局対応状況

全国では非常勤職員の期限付き雇い止め問題が焦点となり、新聞でも取り上げられています。再雇用の保証や制度上の工夫による事実上の雇用の継続などを求める各大学の組合のたたかいが進んでいます。高エネルギー研究所では期限終了時に「勤務評価」を行い、それによる更新を繰り返し、60才までの雇用に可能とさせました。農工大、茨城大、大阪教育大、大分大、などでは期限を3年から4～6年に変更させるなどの成果を出してい

ます。

幸い、金沢大学では一年契約の通年雇用により年次更新が認められており、他大学のような「雇い止め」問題は起こっておりません。これまでの組合運動の成果と考え、組合の役割をあらためて確認したいものです。

今回の統一要求書に対する当局の回答は未だなされておられません。年度末が迫り、3月期の理事会などを経て、少なくとも何らかの文章上の対応は考えているようですが、我々の切実な要求に比べ、当局は今一歩姿勢が立ち後れているといわざるを得ません。

大学破壊

国立大学に未来はあるか

全国大学高専教職員組合（編）

2008年ノーベル賞物理学賞受賞

益川敏男氏推薦

主な目次

- 第1章 「駅弁大学はもういない」？
- 第2章 「大学教授」を目指す若者がいなくなる日
- 第3章 いつまで続く「研究費獲得コンテスト」地獄
- 第4章 沈没寸前の国立大学号、乗組員の大脱走が始まった
- 第5章 高すぎる教育費は少子化・格差再生産の元凶だ
- 第6章 混迷深める国立大学の近未来

定価1680円、10冊以上だと割引になりますので、希望者は組合事務所にご連絡下さい。

梅池高原スキーツアー



私の「組合スキー」デビューの記

人間社会学域 石黒 盛久

去る2月14、15日の両日に梅池高原スキー場で行われた、組合主催のスキー旅行に参加しました。生まれてこの方スキーなど履いた経験もほとんどない私が、いきなりスキー旅行に参加するという無謀の挙に出たのはなぜであるのか。それは一つには研究室を隣り合わせるM先生が昨年、華麗な「組合スキー」デビューを飾られたからです。「Mに出来て私に出来ないはずがない」という私の自負心が、まさに身の程知らずの妄想に過ぎなかったことは、今この記を書きながらも汗顔の至りです。いま一つの理由はスキー狂を自称する私の同居人の強制です。

「プロ級組合員のレッスンつきで6800円！これは行かない手は無い」とのたまうのです。実際、経済学部部の安嶋先生の温かくも厳しい指導の甲斐あって、曲がりなりに直角降の真似事ができるところまでたどり着いたときには、それまでの拷問的修行を一瞬忘れるほどの爽快感を味わいました。



その後の、抜けるような晴天の下でのリ



フト初体験も相まって、スキー場の魅惑に少しだけはまったことを告白します。

来年またお世話になります。今後ともどうかよろしくお願いいたします。



スキーツアー



兼六中学校1年 沢田 莉那

私は、初めてこのスキーツアーに参加しました。最初は、知らない人がたくさんいて、不安でしたが、とてもみんな優しくかったです。

スキーツアーの前日、私は、学校で足をねんざしてしまいました。でも、1年に1回しかスキーができないから、ねんざを気にせずすべりました。みんな心配してくれて、すごく嬉しかったです。

ゴンドラでのぼっている途中、雲の上にてました。山は雪がかぶっていてすごく綺麗で、感動しました。

泊まった民宿で食べたご飯はとても、おいしかったです。

私は、ある人がスノーボードをしているところを見ました。すごくかっこよくて、自分もしてみたいなあ。と思いました。

また、このスキーツアーに参加したいと思います。

その時は、怪我をしないようにしてスノーボードをしてみたいと思いました。

このスキーツアーはとっても楽しかったです。

全大教発
他大学の交渉から

「15分時間短縮によるフルタイム・パート雇用職員の時間単価の見直し」の回答出る

他大学からは団体交渉で、時間単価引き上げの回答を引き出したニュースが続々届いています。

金沢大学教職員組合でも統一要求に掲げ、早期に回答・交渉を求めています。

時間単価アップの回答が出ている大学

- 約3%アップ 高専機構、岩手大、秋田大、新潟大、茨城大(農)宇都宮大、富山大、山口大、九州大
- 3.2%アップ 熊本大
- 佐賀大、大分大では引き上げを予定しています
- 交渉申し入れ中 福島大、高エネ研
奈良教育大、島根大

2 活動日誌

23日	20日	19日	14日	12日	10日	7日	6日	5日	2日	1日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
女性部 「バンクフレディッシュ」	21日 全大教書記研修会(静岡)	第11回執行委員会	15日 全大教技術職員交流会(東京)	第1回推薦委員会	8日 全大教病院協議会総会(東京)	「中期目標・計画」を考える会	第2期中期目標・計画に関する会	第10回執行委員会	学域・学部・事務へ申し入れ	全大教中部地区単組代表委員会(京都)

大阪大学 【要望署名】
通勤手当要求の署名に取り組む

非常勤職員・再雇用職員に通勤手当を別途支給して下さい!

大阪大学では8000人以上の教職員が働いていますが、その三分の一にあたる非常勤職員ならびに任期付嘱託職員(再雇用職員)には、大学に通勤するために必要な「通勤手当」が支給されていません。

「私たち非常勤職員は、時給で計算された給料の中から交通費を負担して出勤しています。交通費は仕事をする上での必要経費です。交通費を日費で出さないと職場に行けません。」と切実な声があがっています。

交通費は通勤経路・手段が違えば、当然ながら個々の教職員によって負担額も異なります。たとえ時給給に紛れ込ませたとしても、適用される時間給が同じ人々のあいだには、実質的な不均衡が生まれます。

平成20年人事院勧告において非常勤職員の給与、処遇等について報告がされ指針が示されました。その中にも「通勤手当に相当する給与を支給すること」とあります。

大阪大学で働いている全教職員について通勤手当を別途支給するよう要望します。

所 属 _____

氏 名 _____

- 【署名推進団体】
 大阪大学言語文化研究科言語文化専攻教職員組合
 大阪大学産業科学研究所職員組合
 大阪大学医歯地区教職員組合
 大阪大学教職員組合



き り と り せ ん 金沢大学教職員組合 加入申込書

ふりがな _____ 申込日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏 名 _____ (男・女) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

部局名 _____ 職場 _____ 内線 _____

職 種 _____

連絡先 電話 _____

E-mail _____ (職場・個人用)

記載された個人情報、組合が適切に管理し、組合員名簿に記載する他、組合からの各種ご案内に利用させていただきます